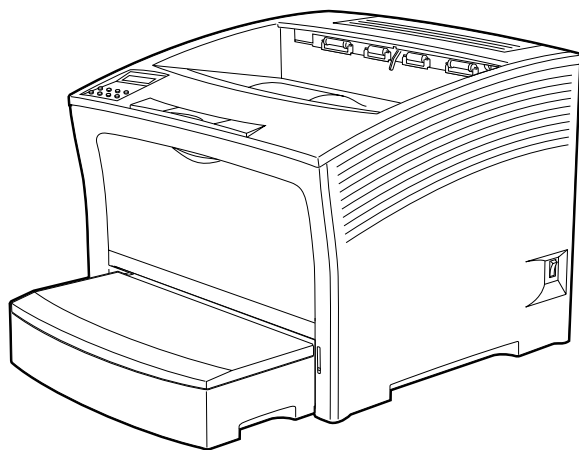




IBM 5589-L36型レーザー・プリンター

設置・操作ガイド



商標および Copyrights
第 2 版 2002 年 3 月

このマニュアルは、製品の改良その他により適宜改訂されます。

本書中、以下の商標は IBM Corporation の商標です。

IBM, OS/2, PS/55, PS/2, RISC System/6000, IBM PC-AT

本書中、以下の用語は各社の商標または、登録商標です。

キヤノン (株)	CANON, BJ-10v, BJ-10
セイコーエプソン (株)	EPSON, ESC/P
日本電気 (株)	NEC, PC-PR201H, 201PL, PC-PR201
米国ノベル社	NetWare
米国マイクロソフト社	Microsoft, Windows, Windows NT
米国ゼロックス社	イーサーネット

本書中では、以下の略称を用いています。

- Microsoft® Windows® Version 3.1 日本語版 Windows 3.1
- Microsoft® Windows 95® 日本語版 Windows 95
- Microsoft® Windows 98® 日本語版 Windows 98
- Microsoft® Windows NT® Version 4.0 日本語版 Windows NT 4.0
- Microsoft® Windows 2000® 日本語版 Windows 2000
- Microsoft® Windows Millennium® 日本語版 Windows Me

©Copyright International Business Machines corporation 2002 All Rights Reserved.

はじめに

このたびは、IBM5589-L36をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、IBM5589-L36の操作および取り扱い上のご注意などを記載した説明書です。ご使用になる際によくお読みいただき、IBM5589-L36を十分にご活用ください。

必要なときにすぐに取り出してご覧いただけるように、大切に保管してください。

本書では、以降IBM5589-L36を、単に「プリンター」、「本プリンター」、「本製品」、「本機」などと記述しています。

レーザーの安全性

この装置は、米国食品医薬品局の規定するクラス レーザー製品の性能基準を満たしています。すなわちIBM5589-L36は、危険なレーザー光を出さないレーザー製品のクラスに属しています。これを実現するため、本装置では、レーザー光が人体に届かないようにする（つまり、クラスの限度内におさまるようにする）ために必要な保護筐体、インターロック、および走査保護がそなえられています。工具の使用を必要とする各種の機械カバーの脱着、交換は訓練を受けた保守担当員のみが行います。操作員によるレーザーの調節はありません。

電波障害自主規制届出装置の記述

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

LANカード・オプション装着時

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。



安全に正しくお使いいただくために

本書では、本機を安全に正しくお使いいただくための安全表示がなされています。

本書を保管して、必要に応じて参照してください。

安全表示について

製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、本書および製品上に次の安全表示をしています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある危険が存在する内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

危険／注意ラベルの表示について

本機の外部または内部に黄色地に黒文字で表示されているラベルがある場合は、安全に関しての、危険または注意ラベルです。必ず表示の指示にしたがってください。

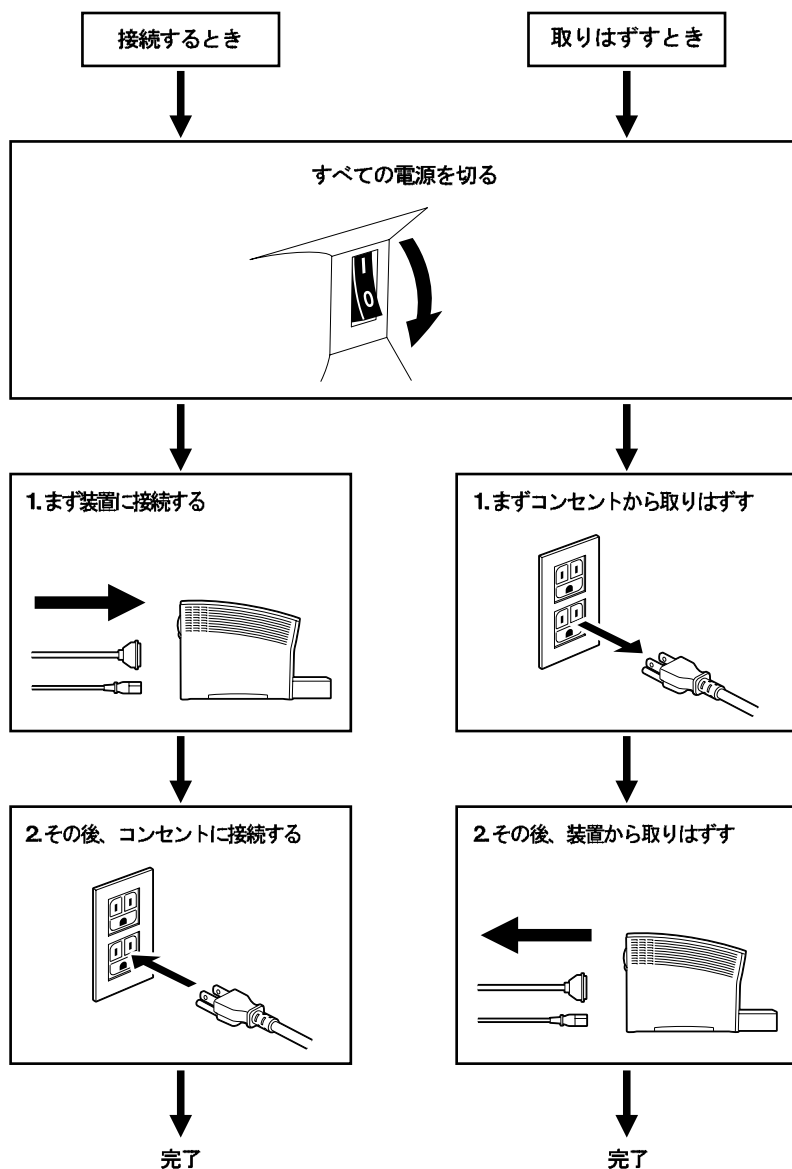
本書に記述されている以外に、危険または注意ラベルによる表示がある場合も、必ずそのラベルの指示にしたがってください。

⚠ 危険

電源コード、電話線、通信ケーブルからの電流は身体に危険を及ぼします。設置、移動、または装置を接続するときには、下記の手順にしたがってケーブル類の接続または、取りはずしを行ってください。

本機は、安全のため3線電源コードおよび3ピン電源プラグを使用しています。

電源プラグは、必ず接地端子付きコンセントに差し込んで使用してください。



危険

- 本書で指示している操作部分以外は、自分で手入れや修理を決してしないでください。火災、感電のおそれがあります。本機の性能に明らかな変化が認められ、手入れや修理が必要とされる場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- ねじで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示している箇所以外絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。
- 注油や分解はしないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機を改造しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 本機は、付属の電源コード以外は使用しないでください。付属の電源コードを他の機器には使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。
- 電源プラグは電源定格 100V、定格電流 15A 以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。
なお、本機の定格電源は 100V、12A となっています。
- 電源プラグやコンセントに付着したほこりは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原因となることがあります。
- 万一漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、電源コンセントはアース端子付き 3 極コンセントを使用してください。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線）、保守サービス員、保守サービス会社または販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。また重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりすると電源コードが破損し火災、感電のおそれがあります。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- コンピュータの構成に電話ケーブル接続、通信ケーブル接続、テレビのアンテナ接続が含まれている場合、付近に雷が発生しているときは、それらのケーブルに触れないようにしてください。
- 次のようなときはただちに使用を中止し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用を続けると発火のおそれがあります。
 - ・ 本機から発煙したり、本機の外側が異常に熱くなったとき
 - ・ 異常な音や臭いがするとき
 - ・ 異物（金属片、水、液体）が本機の内部に入ったとき

- 万一、本機を落としたり本機が損傷を受けた場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから必ず抜いて、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。
- 本機の上に花瓶、植木鉢、コップなど水の入った容器を置かないでください。水がこぼれた場合、火災や感電のおそれがあります。
- 本機の上に金属類を置かないでください。隙間から内部に、クリップやステープラーの針のような金属類や燃えやすいものが入り込むと、本機内部がショートし、火災や感電のおそれがあります。
- EPカートリッジは、絶対に火中に投げないでください。カートリッジ内に残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどのおそれがあります。
- EPカートリッジの廃棄に関しては、地方条例に従って廃棄してください。特に指定のない場合は不燃物として処理してください。
- 本機を廃棄する場合は、必ずEPカートリッジを取りはずし、本体とは別に処理してください。

注意

- 本機の電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。火花によりプラグが変質し、発熱・発火の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- インターフェース・ケーブルおよびオプション製品を接続するときは電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。
- 本機の清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源スイッチを切らずに本機の清掃や保守を行うと、感電の原因となることがあります。
- 湿気やホコリの多い場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 本機の通気孔をふさがないでください。通気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 本体を持ち上げたり、配線を変えたり、移動したりするときは、二人以上で行ってください。
- 連休などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のために電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
- 本機の安全スイッチに磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。本機が作動状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

- 本機の上に重い物を載せないでください。本機のバランスが崩れて倒れたり、重い物が落下してけがの原因となることがあります。
- 本機の近くで強燃性スプレーを使用しないでください。引火の原因となることがあります。
- 紙詰まりを処理するために、「高温注意」ラベルが貼ってある定着器やその周囲にふれるときは、やけどの原因となることがあります。十分に冷えていることを確認してから紙詰まりを処理してください。
- 見えない部分や見えにくい部分に詰まった用紙を取り除くときは、無理に取るだけの原因となります。保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- 詰まった用紙を取り除くときは、本機内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災の原因になることがあります。なお、紙片が取り除けない場合および定着器やローラー部に用紙が巻きついているときには無理にとらないでください。けがの原因となります。ただちに電源を切り、保守サービス員、保守サービス会社または販売店にご連絡ください。
- 1か月に一度は本機の電源を切り、次のような点検をしてください。なお、異常がある場合は保守サービス員、保守サービス会社または販売店までご連絡ください。
 - ・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。
 - ・電源プラグに異常な発熱やサビ、曲がりなどはありませんか。
 - ・電源プラグやコンセントに細かいホコリが付いていませんか。
 - ・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- 印刷直後は、プリンター内部の定着器周辺が非常に高温になっています。やけどをしないようご注意ください。
 - ・上面カバーの開閉、EPカートリッジの取り付け、詰まった用紙の取り出しなどを行う場合には、これらの部分に触れないように、特に注意してください。
 - ・業務終了後プリンターに布などのカバーを掛ける場合は、電源スイッチをOFFにし、この部分の温度が十分に下がってからにしてください。
- 前面給紙トレイ・カバーおよび上面カバーの開閉はていねいに行ってください。
- 印刷中は、振動を与えないでください。
- 印刷中は、絶対に上面カバーを開けないでください。
- 印刷中は、給紙カセットを抜かないでください。

その他

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなどの電波障害が発生し電波障害の原因が本機であると考えられる場合は、本機の電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせ障害を防止してください。

- ・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる（アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください）。
- ・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

5589-L36 の特長

本プリンターは、次のような特長をもつ電子写真方式のレーザー・プリンターです。

■ 標準ページ記述言語 PAGES 及び Windows モードを搭載

IBM システムとの接続において、高い信頼性を提供する PAGES(Page Printer Advanced Graphics Escape Set)に加えて、Windows モードを搭載することにより、Windows 環境ではさらなる高速、高品質印刷(1200dpi 相当)が可能です。また、自動モード切替により IBM システムと Windows の混在環境においてもシームレスな接続を実現しています。

■ 豊富なエミュレーションを搭載

IBM5577 エミュレーションを装備

IBM 5577 エミュレーションを搭載し、IBM5577 プリンター対応のソフトウェアでの使用ができます。

また、IBM システムとの接続において、高い信頼性を提供します。

ESC/P エミュレーションを装備

ドット・インパクト・プリンター言語である ESC/P24-J84 を搭載し、ESC/P 対応のソフトウェアでの使用ができます。

201PL エミュレーションを装備

ドット・インパクト・プリンター言語である 201PL を搭載し、PC-PR201 対応のソフトウェアでの使用が可能です。

■ 新郵便番号制カスタム・バーコードに対応

郵政省が制定した新郵便番号制カスタム・バーコードが印刷できます。

■ 高速処理を実現する高性能プロセッサを搭載

印刷コントロール部には、最新の高性能 32 ビット RISC プロセッサ (200MHz) を搭載し、A4 サイズの同一原稿を横送りで 1 分間に 36 枚という高速印刷を行います。また、短時間で各種アウトライン・フォントを美しく鮮明に印刷します。

■ 1200dpi 相当の高品質印字

スムージング技術 : SFC (Super Fine Control) 機能により、最大 1200dpi 相当の高解像度で品質の高い印刷を実現しています。SFC 機能は文字や図形の輪郭を自動的にスムージング処理して、より滑らかに美しく印刷することができます。

■ 平成フォントを標準で搭載

日本語フォントとして、美しい平成アウトライン・フォント (平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5、(注)) を標準搭載し、サイズの大きな文字でも美しく印字し、高度な DTP 文書が作成できます。

(注) この書体は (財) 日本規格協会を中心にグループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

■ Code Page943に対応

Windows がサポートしている新JIS (JIS90) 並びのフォントが印字できます。

■ 各種用紙サイズ、用紙の種類に対応

印刷できる用紙のサイズは、A3 から 88mm(W) × 148mm(H)まで広い範囲のサイズに対応、扱える用紙の種類も、普通紙、ラベル紙、官製八ガキ、OHP とさまざまなタイプに対応できます。

■ 使いやすい操作パネルの採用

給紙方法、印刷の中断などは、操作パネルのスイッチを押すだけといった簡単な操作。コピー枚数や印刷範囲の設定など、印刷のための各種設定も、わかりやすいメニューを使って行います。

■ 最大 3,150 枚までの大量連続印刷も可能

別売の 500 枚給紙ユニットと 2,000 枚給紙ユニットを取り付けることにより、さらに効率のよい印刷作業が行えます。(前面給紙トレイを含めると、最大 3,150 枚までセットできます)。

■ オフィス環境対策

パワー・セーブ・モード / トナー・セーブ・モードを採用することにより、電力やトナーの消費を抑えて (パワー・セーブ・モード時 40W 以下)、低ランニング・コストを実現するとともに、環境にやさしい省エネ時代のプリンターとなっています。さらに、別売りの両面印刷ユニットを取り付けることにより両面印刷が行え、また、複数ページコピー機能 (最大 16 面印刷) を使用することにより、用紙の使用量を削減できるなどオフィス環境への配慮がされています。

■ Windows ドライバーを標準添付

標準添付の Windows 用ドライバーを使用することにより、Windows での快適な印刷を実現します。

MEMO

標準のページ記述言語 PAGES での解像度は 360dpi (SFC によるスムージングは 720dpi 相当) になります。

本機の使用量について

本機の使用量は次のように想定されております。

1日の使用時間	8時間
1ヶ月の使用時間	160時間
1ヶ月当たりの平均印刷枚数	5,000枚 (A4片面換算)

これよりも多くご使用される場合、機械的消耗による印字品質の低下が発生することがあります。これを防止するためには機械部品の一部に交換が必要になる場合があります。詳しくは保守サービス員、保守サービス会社、またはお買いあげの販売店にご相談ください。

本書の読みかた

本書の構成

本書は、「設置編」「基本操作編」「応用操作編」「異常時の診断と日常の取り扱い編」の4編に大きく分かれています。各編には、次のような内容が書かれています。

■設置編

プリンターを設置するときにお読みください。

プリンターをお使いになるまえに心得ておいていただきたい注意事項、プリンターの設置方法から、システム・ユニットとの接続、プリンター・ドライバーのインストール、テスト印刷までの手順について説明しています。

■基本操作編

一般的な印刷の際の操作を知りたいときにお読みください。

用紙のセット方法から印刷の操作、詰まった紙の取り除き方など、印刷に関する基本的な操作について説明しています。

■応用操作編

より高度に使いこなしたいときにお読みください。

一般的な印刷では望みどおりの結果が得られない、プリンターをより高度に使いこなしたいという場合のために、操作パネルを使った各種印刷設定の方法について説明しています。

■異常時と日常の取り扱い編

印刷をしていて困ったことが起きたときにお読みください。

印刷時に起こりやすいトラブルを取り上げ、その原因と対処方法について説明しています。また、日常のお手入れの方法など取り扱いについても説明しています。

巻末には、用紙について、サプライ品・オプション製品の紹介と装着、エミュレーションの解説、文字セット一覧、その他のご注意、本プリンターの主な仕様、索引などを記載しています。

本書で使われているマークについて



操作をするうえで守っていただきたいことや重要な情報が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために必ずお読みください。



機能や操作についての補足説明が書かれています。



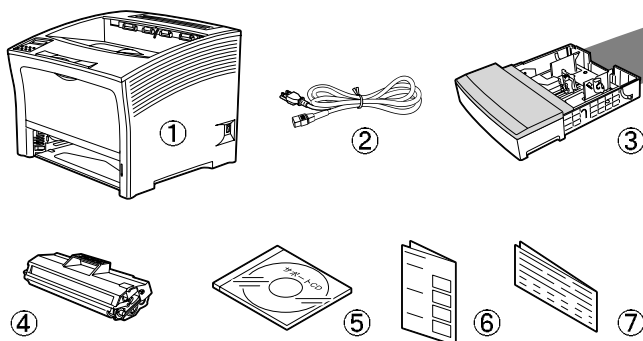
参照ページを指示しています。

この順番で作業を進めます

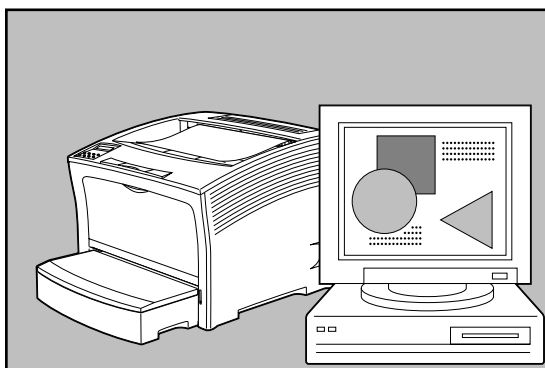
プリンターの設置からプリンターが使えるようになるまでに、次のような作業が必要です。ひとつおとり確認してから、作業をはじめてください。

1 箱を開けて確認します。

- ① プリンタ本体
- ② 電源コード
- ③ 給紙カセット
- ④ EP カートリッジ
- ⑤ サポートCD
- ⑥ 簡単ガイド<設置編>
(簡単ガイド<印刷編>含む)
- ⑦ 保証書(細包箱に貼付け)



10 データを印刷します。



9 プリンター・ドライバーをインストールします。


お使いになるオペレーティング・システムに合わせてプリンター・ドライバーをインストールします。

Windows 95/98/Me用のプリンター・ドライバー
Windows NT4.0/Windows 2000用のプリンター・ドライバー

8 システムユニットに合わせてプリンターを設定します。

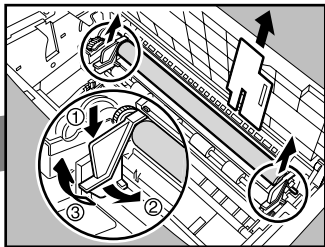
インターフェースの設定、エミュレーションの設定、ネットワーク環境の設定など、本プリンターをお使いになる環境に合わせて、プリンターを設定します。

設置編「システム・ユニットに合わせてプリンターを設定します」(P.34)



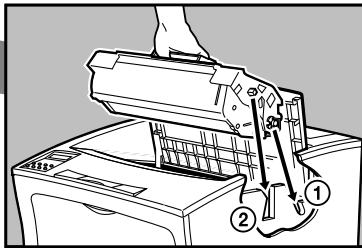
設置編「プリンター・ドライバーをインストール及び設定する」(P.38)

2 梱包材を取りはずします。



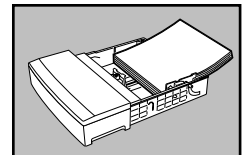
スペーサを取りはずします。

3 EPカートリッジを取り付けます。



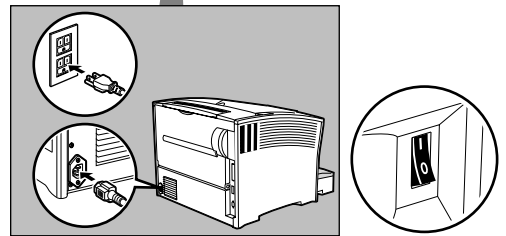
設置編 「EPカートリッジを取り付ける」
(P.20)

4 給紙カセットに用紙をセットします。



設置編 「給紙カセット
に用紙をセットする」
(P.23)

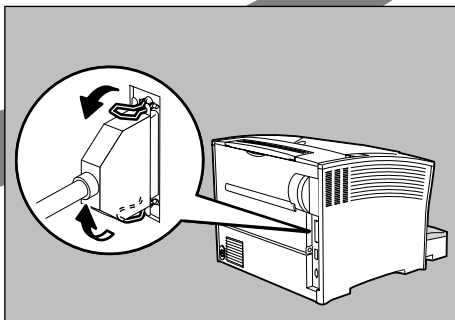
5 電源コードを接続し、電源を入れます。



設置編 「電源コードを接続
し、電源を入れる」
(P.27)

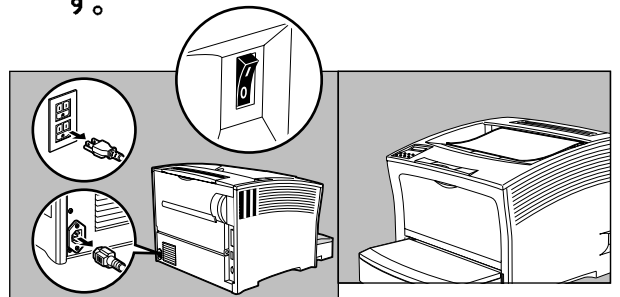
7 プリンターとシステム・ユニットを接続します。

設置編 「プリンターとシステ
ム・ユニットを接続する」
(P.33)



6 テスト印刷をして、電源を切ります。

テスト印刷をして、プリンターが
正常に動作するかどうかを確認しま
す。



設置編 「テスト印刷をして、電源を切る」
(P.30)

こんなときにはここを読んでください

IBM 5589-L36プリンターについて知りたいとき、どこを読めばよいのかを、プリンター各部について示しました。

操作パネルのスイッチやランプについて知りたいとき

「スイッチの使い方」 P.8

「ランプの見かた」 P.10

液晶表示部について知りたいとき

「液晶表示部の見かた」 P.12

エラーメッセージが表示されたとき

「エラーメッセージが表示されたとき」 P.187

カートリッジの交換方法について知りたいとき

「EPカートリッジを交換する」 P.91

不定形の用紙や特殊な用紙を使うとき

「前面給紙トレイの用紙サイズを選ぶ」 P.53

点検ランプがついたとき

「エラーメッセージが表示されたとき」 P.187

「EPカートリッジを交換する」 P.91

データ有ランプがついたとき

残ったデータを強制的に印刷するには」 P.65

プリンターの設定を変更するには

「モード設定について」 P.97

用紙が詰まったとき

「詰まった用紙を取り除く」 P.68

前面給紙トレイへの用紙のセット方法を知りたいとき

「前面給紙トレイに用紙をセットする」 P.45

給紙カセットへの用紙のセット方法を知りたいとき

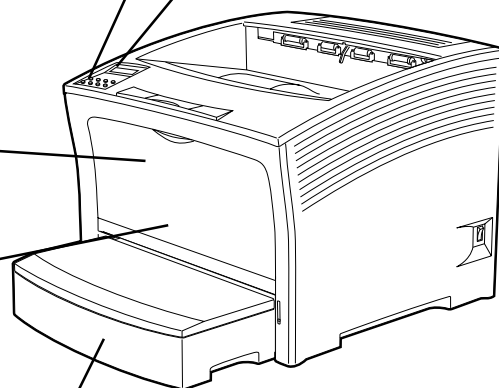
「給紙カセットに用紙をセットする」 P.23

オプション製品について知りたいとき

「付録B サプライ品・オプション製品の紹介」 P.212

プリンターのお手入れについて知りたいとき

「日常の取り扱い」 P.202



目次

はじめに	ii
レーザーの安全性	ii
電波障害自主規制届出装置の記述	ii
LANカード・オプション装着時	ii
安全に正しくお使いいただくために	iii
その他	viii
5589-L36の特長	ix
本機の使用量について	xi
本書の読みかた	xii
本書の構成	xii
本書で使われているマークについて	xiii
この順番で作業を進めます	xiv
こんなときにはここを読んでください	xvi
設置 編	1
箱を開けて確認します	2
この他に必要なもの	4
各部の名称と働き	5
本体（標準）	5
前面	5
背面	5
内部	6
操作パネル	6
オプション構成	7
前面	7
背面	7
操作パネルの使い方	8
スイッチの使い方	8
ランプの見かた	10
液晶表示部の見かた	12
印刷可能状態	12
印刷不可状態	12
モード設定	13
用紙の流れ	14
設置についてのご注意	15
設置する場所	15

上面図	15
側面図	15
設置する台	16
設置場所の条件	16
設置してはいけないところ	17
移動するときの注意	18
プリンターを設置します	19
設置手順の流れ	19
EP カートリッジを取り付ける	20
EPカートリッジ取り扱い上の注意	20
給紙カセットに用紙をセットする	23
電源コードを接続し、電源を入れる	27
テスト印刷をして、電源を切る	30
プリンターとシステム・ユニットを接続する	33
システム・ユニットに合わせて	
プリンターを設定します	34
設定手順の流れ	34
エミュレーションの設定をする	35
インターフェースを設定する	37
プリンター・ドライバーをインストール及び設定する	38
Windows用のプリンター・ドライバーをインストールする	38
OS/2 Warp用のプリンター・ドライバーをインストールする	39
IBM日本語版DOS J4.0/J5.0の設定	40
最新のプリンター・ドライバーの入手先	41
基本操作 編	42
基本的な印刷手順	43
印刷手順の流れ	43
用紙をセットする	44
給紙カセットに用紙をセットする	44
前面給紙トレイに用紙をセットする	45
排紙トレイをセットする	48
電源を入れる	49
給紙部を選ぶ	50
給紙カセットを使うとき	50
前面給紙トレイを使うとき	50
前面給紙トレイの用紙サイズを選ぶ	53
「フテイケイ」 以外の用紙サイズの場合	56
「フテイケイ」 (不定形) を選択した場合	58

データを印刷する	62
印刷を中断するには	63
中断した印刷を再開するには	64
残ったデータを強制的に印刷するには	65
リセット、印刷の取り消しをするには	66
知っておきたい印刷操作	68
詰まった用紙を取り除く	68
紙詰まりの起こる場所	69
「カミツ` マリ` キュウシブ` ...」 と表示された場合	70
「カミツマリ` ソウチナイブ...」 「カミツマリ` ハイシブ...」	
と表示された場合	78
「カミツマリ` 2000ユニット...」 と表示された場合	86
EPカートリッジを交換する	91
はじめてEPカートリッジ交換のメッセージが	
表示された場合	91
点検ランプが点灯し「ドラムジュミョウ」 と表示された場合 ...	91
EPカートリッジを取り付ける	93

応用操作 編 96

モード設定について	97
モード設定の基本操作	100
モード設定に使うスイッチ	100
モード設定の流れ	101
モード設定に入る	103
設定項目を選ぶ	104
選択肢を選ぶ	105
数値を設定する	106
モード設定を終了し、設定値の保存方法を選ぶ	107
途中で設定をやり直すには	108
用紙の設定 [1. ヨウシツテイ]	109
用紙方向について	109
マージンについて	110
前面給紙トレイの用紙サイズの設定 [マイトレイ ヨウシツアイ] ..	110
選択肢	110
設定範囲	110
メニュー操作	111
前面給紙トレイの用紙方向の設定 [マイトレイ ヨウシツコウ]	113
選択肢	113
メニュー操作	113

前面給紙トレイのマーヅンの設定	115
選折肢	115
設定範囲	115
メニュー操作	115
第1給紙カセットの用紙サイズの設定 [カセット1 ヨウシサイズ] ..	117
選折肢	117
設定範囲	117
メニュー操作	118
第1給紙カセットの用紙方向の設定 [カセット1 ヨウシカウ] ..	120
選折肢	120
メニュー操作	120
第1給紙カセットのマーヅンの設定 [カセット1 マーヅン]	121
選折肢	121
設定範囲	122
メニュー操作	122
共通設定 [2. キョウツウ セツテイ]	123
タイム・アウト [タイムアウト]	123
選折肢	123
メニュー操作	124
トナー・エンド [トナーエンド]	125
選折肢	125
メニュー操作	125
パワー・セーブ・モード [パワーセーブ]	126
選折肢	126
メニュー操作	127
アラーム設定 [アラーム セツテイ]	128
選折肢	128
メニュー操作	128
表示モード [ヒョウシ モード]	129
選折肢	129
メニュー操作	129
漢字 コード [カンジ コード]	130
選折肢	130
メニュー操作	132
ページ・プロテクト [ページプロテクト]	133
選折肢	133
メニュー操作	133
両面印刷機能の使用 [リョウメン インスツ]	134
メニュー操作	134

インターフェース設定 [3. インターフェイス]	135
パラレル・インターフェースのモード設定	
[パラレル] [インターフェイスモード]	135
選択肢	135
メニュー操作	136
パラレル・インターフェースのエミュレーション・モード設定	
[パラレル] [エミュレーション]	137
選択肢	137
メニュー操作	138
ネットワーク・インターフェースエミュレーション・モードの設定	
[AIO] [エミュレーション]	139
選択肢	139
メニュー操作	140
16進ダンプの印刷例	141
テスト印刷 [4. テストモード]	142
セルフ・テスト印刷 [セルフテスト インサツ]	142
メニュー操作	143
セルフテスト印刷の印刷例	144
詳細設定 [5. ショウサイ セッテイ]	145
ページの拡大・縮小 [ページバリエ]	145
選択肢	145
メニュー操作	146
コピー枚数 [コピーマウス]	148
設定範囲	148
メニュー操作	148
自動トレイ切り替え [ジトウトレイリカ]	149
選択肢	149
メニュー操作	149
トナー・セーブ・モード [トナーセーブ]	150
選択肢 (印刷例)	150
メニュー操作	151
全角書体 [ゼンカクシヨタイ]	152
選択肢	152
メニュー操作	152
データの折り返し位置 [データリカシイ]	153
選択肢	153
メニュー操作	153
厚紙モード [アツガモード]	154
選択肢	154
メニュー操作	154

レターサイズ取り扱い [レターサイズアウチ]	155
選択肢	155
メニュー操作	155
両面綴じ方向 [リヨウメン トジホウ]	156
選択肢	156
メニュー操作	156
PAGES設定 [6. PAGES セッテイ]	157
半角書体 [ANKフォント]	157
選択肢	157
ANKフォント印刷例	157
メニュー操作	158
キャラクター・モード [キャラクターモード]	159
選択肢	159
メニュー操作	160
ESC/P設定 [7. ESC/P セッテイ]	161
各国語対応の文字 [コクゴイジ セタウ]	161
選択肢	161
メニュー操作	161
ANK文字コード [ANKモジ コド]	162
選択肢	162
メニュー操作	162
CR改行 [CRカイキョウ]	163
選択肢	163
メニュー操作	163
201PLの設定 [8. 201PLセッテイ]	164
アウトライン・フォント [アウトラインフォント]	165
選択肢	165
メニュー操作	165
グラフィック [グラフィック]	166
選択肢	166
メニュー操作	166
漢字O字体 [カンジ Oジタイ]	167
選択肢	167
メニュー操作	167
ANKO字体 [ANKOジタイ]	168
選択肢	168
メニュー操作	168
CR改行 [CRカイキョウ]	169
選択肢	169
メニュー操作	169

印字指令 [ｲﾝｼﾞ ｼﾞｲ]	170
選択肢	170
メニュー操作.....	170
自動改行 [ｼﾞﾄﾞウ ｶｲｷﾞ ｻﾞ]	171
選択肢	171
メニュー操作.....	171
用紙長制御 [ﾖｳｼﾞﾖウ ｻｲｷﾞ ｻ]	172
選択肢	172
メニュー操作.....	172
用紙長設定 [ﾖｳｼﾞﾖウ ｻｯﾃｲ]	173
選択範囲	173
メニュー操作.....	173
用紙セット位置 [ﾖｳｼﾞ ｻｯﾄ ｲ]	174
選択肢	174
メニュー操作.....	174
センタリング位置 [ｻﾝﾀﾘﾝｸﾞ ｲ]	175
選択範囲	175
メニュー操作.....	175
各国語対応の文字 [ｶｯｸ ﾓｼ]	176
選択肢	176
メニュー操作.....	176
ANK文字 [ANKﾌｻｯﾄ 1] [ANKﾌｻｯﾄ 2]	177
選択肢	177
メニュー操作.....	177
工場出荷値に戻す [ｼﾞｯｶﾞ ﾋ ﾉ ﾉ ｽ]	178
メニュー操作.....	180
印刷取消要求	181
ネットワーク印刷中のジョブの取り消し.....	182

異常時の診断と日常の取り扱い 編 183

異常時の診断	184
電源投入時の異常	185
NVRAM消去の手順	186
メニュー操作.....	186
操作パネルの異常	187
エラー・メッセージが表示されたとき	187
用紙送りの異常	193
印刷に関する異常	194
その他	201

日常の取り扱い	202
お手入れについて	202
プリンターを移動するときには	203

付録..... 206

付録A 用紙について	207
使用できる用紙について	207
すき（漉き）方向	208
特殊な用紙について	208
厚紙、ラベル紙	208
はがき	209
OHPシート	209
推奨用紙	209
使用できない紙	210
印刷推奨領域・印刷保証領域	211
用紙の保管について	211
付録B サプライ品・オプション製品の紹介	212
サプライ品	212
EPカートリッジ	212
EPカートリッジS	212
EPカートリッジの保管について	212
500枚給紙ユニット	213
給紙カセット	213
定着器（FUSER UNIT）	214
オプション製品	214
2,000枚給紙ユニット	214
両面印刷ユニット	214
拡張メモリー・オプション	215
増設フラッシュ・メモリー・オプション	215
インターフェース・ケーブル	215
LANカード・オプション	216
付録C 拡張メモリー、増設フラッシュ・メモリーの装着	217
付録D 給紙ユニットの装着	220
500枚給紙ユニットの装着	220
2,000枚給紙ユニットの装着	223
付録E 両面印刷ユニットの装着	228
両面印刷ユニットの装着	228
付録F 定着器（Fuser Unit）の装着	229
付録G エミュレーションの解説	231

PAGES	231
バーコード・コマンド	231
バーコード・フォーマット設定コマンド	231
バーコード印字コマンド	234
両面印刷制御コマンド	235
5577	235
アプリケーションでの設定	235
文字セット	236
ESC/P	236
アプリケーションでの設定	236
解像度の違い	236
ESC/Pの初期設定	237
ESC/Pコントロール・コード一覧	237
201PL	240
アプリケーションでの設定	240
解像度の違い	240
201PL の初期設定	241
「用紙セット位置」の設定	241
201PL コントロール・コード一覧	242
NetWare 3.1xJ、4.1xJ上でのプリンターの共有	245
デバイス・モードの設定例	245
エミュレーション切り替えで利用できるコマンド	246
リモート・オプションを行う場合の留意点	246
付録H 文字セット	247
付録I 其他のご注意	253
外付けプリンター・サーバーとの接続	253
パラレル・インターフェースモードを変更する場合	253
両面印刷機能の制限	253
「ヨウサイ入 17」が表示された場合	253
主な仕様	254
索引	255